

80カ国、100万人を超える人びとが参加！

ライティングマラソン 2012 のご報告



上智大学四谷キャンパス(東京)にて

先月行われたライティングマラソン 2012 は、大成功のうちに幕を閉じました。イベントには多くの人びとが参加し、全世界で 1,416,121 ものアクションにつながりました。

日本支部では、全国 33 会場でイベントが行われ、6309 の署名が集まりました。東京ではキャンドルに見立てた 1000 を超える手作りのランタンが街を明るく照らし、世界の人びとが直面している人権問題をアピールしました。大阪では世界人権宣言の朗読会や演奏会が開かれました。以下、世界各地で行われたイベントの一部をご紹介します。

カナダ支部では、トロントにある CN タワーをアムネスティカラーの黄色にライトアップし、人権の大切さを訴えました。ルクセンブルクでは、危機的状況にある人びとを想いながら明かりを灯したランタンを川に浮かべました。パラグアイ支部では自転車レースが開かれ、参加者が署名を集めながら街を走り抜けました。ポーランドではコンサートやワークショップなど 200 のイベントが開かれました。ルーマニアでは、強制退去を命じられたコアスティ通りのロマの人びとが市庁舎の前にランタンを持って集まり、世界中が団結して彼らを応援している現状をアピールしました。プエルトリコでは、失踪したホアン・アルモンテさんについて、ホアンさんの妻が体験を話し活動への協力を呼びかけました。

ライティングマラソンに参加した世界中の皆さんに、心から感謝を申し上げます。

グッドニュース！

〔コンゴ共和国〕

ボシュ・ンダラ・ウンバさんが2012年11月9日、釈放されました。コンゴ共和国で拘束されていた仲間3人の中で、最後の釈放となりました。



3人はコンゴ民主共和国の元治安部隊員であった。2000年から2001年にかけて、ウンバさんと同僚2人は、国家転覆の罪を着せられそうになり、隣国コンゴ共和国に庇護を求めました。2004年、母国の首都でクーデター絡みとみられる銃撃戦がありました。仲間の1人がラジオ番組のインタビューで、その事件についてコメントしたところ、その日の夜、3人は何の説明もなく拘束されました。それからずっと不法に拘束されていました。

〔トルコ〕

トルコ北西部の町エスキシェヒルでハリル・サヴダさんが12月12日、無罪を言い渡されました。



2011年、良心的に兵役拒否する仲間を支援する抗議行動に参加したという理由で起訴されていました。トルコの最高裁は別件でサヴダさんを審理しており、引き続き皆さんの支援を必要としています。

アムネスティは、兵役拒否を支持する行為を犯罪とするトルコ刑法 318 条を廃止し、何の罪もない人びとの起訴を止めるよう呼びかけています。

UA ニュース

発行:アムネスティ・インターナショナル日本
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F
TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778
E-mail:uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費 3000 円
郵便振替 00120-9-133251
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本